

聖 家 族

パンダネ 週 報

2020年 2月 2日(日)『主の奉献』～2020年 2月 9日(日)



今日 2月 2(日)「主の奉献」のミサ

於：兵庫教会

- 「ロザリオ」の祈り… 10:35～
- ミサ… 11:00～

内 容	司式司祭と奉仕者 (敬称略)	当日のミサ曲… [1]	
司式・指導司祭	Fr. ボーガルト	入 祭	典礼聖歌集 50番
ミサ準備と後片付け	丸田・寺嶋・中島・(山脇(五))	答 唱	典礼聖歌集 158番
第 1 朗 読	榎本(憲)	奉 納	典礼聖歌集 122番
第2朗読と共同祈願	岩井(功)	拝 領	典礼聖歌集 73番
奉 納・献 金	岩井(あ) 蔡	閉 祭	典礼聖歌集 20番

今週のミサ・行事のお知らせ

- 今週の平日のミサ…………… 2月 4日(火) 19:00～ / 2月 6日(木) 9:30～
- ◆神戸地区社会活動委員会(定例会)…… 本日 14:00～ 於：六甲教会
- ◆病者訪問……本日訪問予定

**その他のお知らせ

- ◆「静修会」神戸地区社会活動委員会主催の講演会… 2月 8日(土) 於：明石教会
- ◆「お米一握り運動」・「アフリカ給食支援募金」… 2月 9日(日)ご協力お願い致します。
- ◆外国人&ベトナム人留学生のための日本語教室… 2月 9日(日)ミサ後司祭館で行います。
- ◆ふっこうのかけ橋実行委員会… 2月 16日(日) 於：神戸中央教会
- ◆去年の「しゅろの枝」をお持ちください。… 2月 23日(日)迄
- ◆教会の避難訓練… 2月 23日(日)の予定は3月に延期します。
- ◇教会掃除・お茶当番……2/ 2(日) 2班・5班です。 2/ 3(月)～2/ 9(日) 6班・7

月/日 曜	信徒館及び旧司祭館の利用予定	月/日 曜	児童館の利用予定
2/ 2 日	『神戸ギャマノン』(地域) 14:00～	2/ 2 日	『ISC 体操教室』(地域) 9:00～
2/ 3 月	……………		『神戸ギャマノン』(地域) 14:00～
2/ 4 火	ふれあい広場『おりーぶ』(地域)11:00～ 「聖書講座」及びミサ 18:00～	2/ 5 水	『ISC 体操教室』(地域) 16:30～
2/ 5 水	『詩吟教室』(地域) 18:00～		『ピアノ教室』(地域) 16:00～
2/ 6 木	ミサ及び「聖書を楽しむ会」 9:30～		『神戸ギャマノン』(地域) 18:00～
2/ 7 金	……………	2/ 6 木	『ピアノ教室』(地域) 16:00～
2/ 8 土	こどもワクワク食堂 『勉強しよう会』(地域) 10:00～ 「キリスト教を知る」 16:00～	2/ 7 金	『ISC卓球教室』(地域) ①16:00～ ②17:00～ ③18:00～
			『ピアノ教室』(地域) 17:00～
		2/ 8 土	『のぼらコーラス』(地域) 13:30～

班です。

*上記予定は変更されることもあります



2月 9日 (日)

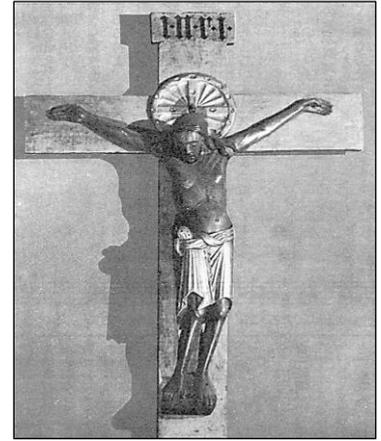
「年間第5主日」のミサ

於：兵庫教会

■ 「ロザリオ」の祈り…… 10:35～

■ ミサ…… 11:00～

内 容	司式司祭と奉仕者 (敬称略)
司式・指導司祭	Fr. ブレーズ
ミサ準備と後片付け	丸田・寺嶋・中島・(Sr. 西谷)
第 1 朗 読	矢野
第2朗読と共同祈願	中井
奉 納・献 金	山脇(良) 久恒

「ゲロの十字架」 木彫
ケルン大聖堂 970年代

【 2月の教会行事 】

2月 8日(土)

2月 9日(日)

2月 11日(火)

2月 16日(日)

2月 23日(日)

2月 26日(水)

「静修会」神戸地区社会活動委員会主催の講演会

「お米一握り運動」・「アフリカ給食支援募金」
外国人&ベトナム人留学生のための日本語教室

世界病者の日

地域グループの集まり

ふっこうのかけ橋実行委員会

外国人&ベトナム人留学生のための日本語教室

灰の水曜日(大斎・小斎)

四旬節の期間中 四旬節愛の献金

[申し込みは
社活 荒木迄]

【 信徒の動き 】

帰天 1月24日(金)

ベルナデッタ 高野千代子 様

主の御もとで安らかにお眠りください。

《 世界病者の日 (2月11日) 》

カトリック中央協議会 HP より

2020年第28回「世界病者の日」教皇メッセージ

親愛なる兄弟姉妹の皆さん「**疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。****休ませてあげよう**」(マタイ11・28)

イエスのこのことばは、恵みへの神秘的な道を指し示しています。それは、素朴な人に示され、疲れた人、弱り果てた人に安らぎを与える道です。このことばは、人の子イエス・キリストの、傷つき苦しんでいる人間に対する連帯の表れです。あまりにも多くの人々が、心身に苦しみを負っています。イエスはあらゆる人に、ご自分のもとに来よう呼びかけておられます。「わたしのもとに来なさい」。そして、慰めと安らぎを約束してくださいます。「こう述べたとき、イエスの目の前には、ガリラヤの路上で日々出会う人々がいました。大勢の庶民、貧しい人々、病者、罪人、律法の重圧や抑圧的な社会構造によって疎外された人々です。これらの人々は、希望が与えられるイエスのことばを聞こうと、……いつもその後をついて回りました。イエスのことばはいつも希望を与えてくれます」(「『お告げの祈り』でのことば(2014年7月6日)」)。

この第28回「世界病者の日」に、イエスは病者、抑圧された人、貧しい人を招いておられます。自分が完全に神に頼っていることを知っているその人々は、試練の重荷によって傷つき、いやしを求めています。もろさ、痛み、弱さを抱えた自身の状態に苦悩する人々に、イエス・キリストは律法を課すのではなく、ご自分のあわれみを、つまりいやし手であるご自身を与えてくださいます。イエスは傷ついた人類を見つめておられます。奥深くにまで届くそのまなざしは、見て、気づきます。無関心にはならず目をとめ、どのような健康状態にあってもだれ一人排除することなく、人間のすべてを受け入れ、ご自分のいのちに入り、優しさに触れるよう、一人ひとりを招いておられます。

つづく